

ヤマザクラ 2011 本プロジェクトに ご支援いただいている皆様へ

ヤマザクラ 2011 プロジェクトの今後の方針

震災 20 年の節目である 2031 年の植樹祭を以て植樹活動を終了とする。

本プロジェクトは宮戸島に 2011 本のヤマザクラを植えて育て、桜の花が満ち満ちる島にして、宮戸島の元気回復と復興を図ろうと 2012 年から始めたものです。

島内に自生するヤマザクラの調査から始まり、自生木からの種取り→播種→苗畑での育苗→3 年後の定植を行ってきました。しかし、素人集団でしかも年に数回集まっただけの植樹事業で、作業の経験もノウハウも乏しい中でしたので、干ばつや多雨、植栽場所の地味など様々な要因で枯死する個体も少なくなく、同じ場所に何度も補植するなどの試行錯誤を重ね、2020 年代に入って、ようやく「桜が咲いてるね」と島を訪れた人々に認知されるようになってきました。

定植され、育っているヤマザクラの本数は 2024 年 12 月現在で 363 本と、2011 本にはまだまだ届きませんが、2011 本を目標に掲げては来ましたが、その目指すところは数にこだわることで無く、「宮戸島をヤマザクラの花で彩る」ことにあると考えています。その意味では、植えた木々は未だ若く大きくは成っていないものの、直実にこの目標に近づいていると言えるでしょう。

一方、活動が 10 年を超え、長期に亘るようになってきたことにより、活動を支えてくださってこられる方々の高齢化、活動疲れなどが起きてきて、「いったい、いつまで続けるんだろう？いつまで続けられるんだろう？」と思うようになってきました。実際、今の状態のままで続けていくことは参加される方々にとっては重いものであるし、主催している側にとっても、自分たちが健康上の理由などで行動できなくなってプロジェクトが宙ぶらりんのまま消えていくのは、宮戸島と島の方々、これまで参加・支援して下さった実に多くの方々に、なんとも「申し訳」がたちません。そこで、ここで活動の時期を明確にしたというわけです。

これまでご支援・ご参加いただいていた皆様には、出来ましたら 2031 年まで引き続きご支援・ご参加を是非ともお願いします。

今春に東松島市生涯学習課長、奥松島縄文村歴史資料館長等との話し合いで、引き続き資料館が事務方を担当していただくことを確認したところですが、事務局には 2031 年春までの活動支援をよろしく願います。

プロジェクトを預かってきました私たちとしても、これで、2031 年まで、みずからの健康と相談しながら頑張ろう、という気持ちで責任を持って活動させていただきます。

よろしく願います。

2024 年 12 月 16 日

山桜 2011 本、奥松島復興の会 代表 岡村道雄

同 実行委員 菅原弘樹

同 事務局長 鈴木三男